

令和 2年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	宮沢 吉浩
全体計画						経費区分		-		内線	246-9000
事務事業名	4141 ごみ処理施設管理事業										
所 属	121000 市民環境部・生活環境課										
施 策	03011200 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	040202 衛生費・清掃費・清掃センター費									
	事業	020000 ごみ処理施設管理事業									
事業目的						事業概要・効果					
廃棄物処理を安全かつ適切に行うため、施設及び車両等の適正な管理を行う。						事業目的に従い施設の維持を目標に、各種操作や処理不適物の除去などに気を配り、施設を大切に使うよう徹底する。また、搬入される市民への丁寧な分別指導を随時行うことで、施設への負担軽減を図る。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
清掃センター及び埋立地の適正な管理	
平成29年度 実績	平成30年度 実績
	清掃センターを適正に管理し、市民サービスの向上に努めた
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
清掃センターを適正に管理し、市民サービスの向上に努めた	清掃センター及び埋立地の適正な管理

指標名	内部管理業務のため指標の設定が困難である。					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		2,667	3,344
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	1
一般財源		2,667	3,343
人員数 (人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	1,453.0	1,453.0
	嘱託職員	282.9	282.9
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,735.9	1,735.9
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,402.9	5,079.9

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	381	消耗品費168、燃料費84外
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	499	給湯設備設置工事499
19節 負担金補助及び交付金	137	会議等出席負担金137
その他	1,650	手数料750、汚染負荷量賦課金375外

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	2	謝礼2
10節 需用費	991	【枠配分】消耗品費164、燃料費251、光熱水費（ガス料）396、修繕料170外
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	36	会議等出席負担金36
その他	2,315	電話料、ホイールローダー自主検査手数料、洗車場用浄化槽汚泥処理手数料、電子コピー機リース料など

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	施設等の適正な管理を行うため必要な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	廃棄物の適正な処理を行うため、施設、車両等の適正管理に努めた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	エコドライブを意識した運転を心掛けるなどして、燃料費の削減に努めた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設及び車両等の適正な管理を実施した。ながのエネルギーセンターへ、可燃物の運搬が必要になったことから、所有ダンプ（22年経過）の更新も検討しなければならない。

